

「CEATEC JAPAN 2016」に日立ブースを出展 快適な移動、生産現場の改革、安全・安心な社会を実現するIoT 関連ソリューションを展示



外観イメージ

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、10月4日(火)から7日(金)までの4日間、幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催される CPS*1 / IoT*2 Exhibition 「CEATEC JAPAN 2016」に出展します。

これまで「最先端IT・エレクトロニクス総合展」として開催されてきた CEATEC JAPAN は、今年から「つながる社会、共創する未来」をテーマにした「CPS / IoT Exhibition」として生まれ変わります。これを受け、日立は、2012年以來4年ぶりに出展し、長年、幅広い事業領域で蓄積してきた信頼性の高い OT(Operational Technology)と IT(Information Technology)の融合により、IoT 関連ソリューションの開発と容易なカスタマイズを可能とする IoT プラットフォーム「Lumada」や、接客や案内サービスを行うヒューマノイドロボット「EMIEW3」をはじめ、日立グループの IoT 関連の幅広い取り組みやソリューションを紹介します。なお、CEATEC JAPAN2016 には、日立グループのクラリオン株式会社も出展します。

また、10月4日(火)15:15~16:00 に、当社の執行役社長兼 CEO 東原敏昭が JEITA*3 会長として「デジタル技術を活用した社会イノベーション」についてキーノートスピーチを実施し、今後のデジタル化の方向性や課題について具体的な取り組みを交えて講演します。

*1 CPS: “Cyber Physical System” 実世界(フィジカル空間)にある多様なデータをセンサーネットワーク等で収集し、サイバー空間で大規模データ処理技術等を駆使して分析/知識化を行い、そこで創出した情報/価値によって、産業の活性化や社会問題の解決を図っていくもの。

*2 IoT: “Internet of Things”

*3 JEITA:電子情報技術産業協会

<主な出展内容>

●「快適な移動」ゾーン

歩道を自律走行する次世代パーソナルモビリティ「ROPITS」や接客や案内サービスを行うヒューマノイドロボット「EMIEW3」を中心に、誰もが効率良く快適に移動可能な、環境負荷の低い交通インフラを実現する技術を紹介します。

- ・ 歩道を自律走行する次世代パーソナルモビリティ「ROPITS」
- ・ 接客や案内サービスを行うヒューマノイドロボット「EMIEW3」とロボット IT 基盤
- ・ 事業価値シミュレータ「NEXPERIENCE/Cyber-PoC」

●「生産現場の改革」ゾーン

機器保守・設備管理サービス「Doctor Cloud」や作業品質管理ソリューションなど、高効率で高稼働率な生産現場を安全に配慮しながら実現する技術を紹介します。

- ・ 機器保守・設備管理サービス「Doctor Cloud」
- ・ 作業品質管理ソリューション
- ・ IoT インテリジェンス ～スマートロジスティクス分野での活用例～

●「安全・安心な社会」ゾーン

車両入退場管理システムや指静脈入退室管理システムなど、多様化・増大する脅威からまちを守る技術を紹介します。

- ・ 車両入退場管理システム
- ・ 指静脈入退室管理システム
- ・ 映像解析システム(滞留検知、顔照合)
- ・ 災害調査用地上／空中複合型ロボットシステム

<出展場所>

日立ブース:幕張メッセ ホール 1、社会エリア 小間番号 1S01

クラリオンブース:幕張メッセ ホール 1、社会エリア 小間番号 1S02、日立ブースの横隣

<CEATEC JAPAN 2016 公式 Web サイト>

URL: <http://www.ceatec.com/ja/>

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
